

知的障がい児・者の「働く態度」に関する研究

—「働く態度のチェックリスト」の作成に向けて—

小笠原 拓¹⁾

岡本 孝伸¹⁾

伊藤 浩²⁾

菅野 敦³⁾

1) 株式会社ドコモ・プラスハーティ

2) 社会福祉法人幸会

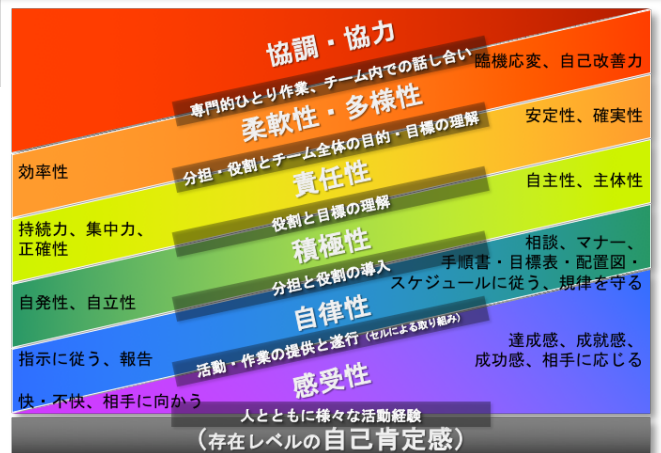
3) 東京学芸大学

KEY WORD: 知的障がい 働く態度 チェックリスト

問題の所在と目的

● **知的障がい児・者の作業・就労支援：**
知識技能に加えて、社会生活に必要な「**実践的な態度**」の獲得が求められる

● 「**職業教育における態度の6領域**」(菅野, 2015) :
支援対象者の実状に応じた段階的な支援の実践に有用
➡ 「**働く態度のチェックリスト**」の作成に向けて、139項目から成る項目案を作成し、妥当性を検証する



方法

● 調査方法：

「働く態度のチェックリスト」の項目案を配布し、特別支援学校、就労継続支援事業所、就労移行支援事業所、特例子会社に所属する知的障がい児・者(223名)の「働く態度」の獲得状況について回答してもらう

● 分析方法：

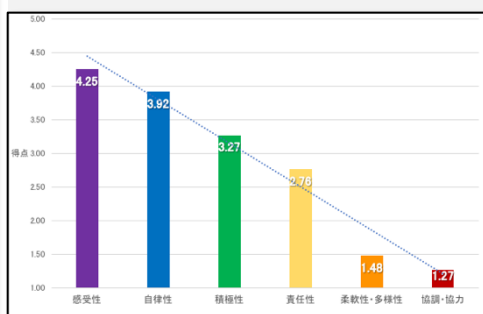
対象者の態度の獲得状況(行動の定着度)によって、1~5点に得点化

(1)各領域及び各項目の平均得点を算出・比較(=項目内容の難易度を検討)

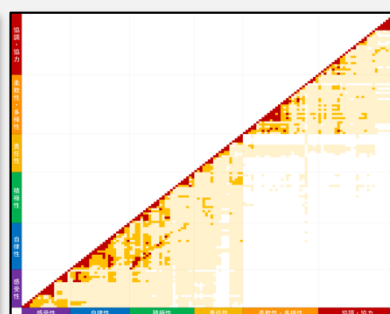
(2)各項目間の相関係数を算出(=項目内容の重複関係を検討)

➡ 以上の分析から「働く態度のチェックリスト」の項目を再構成

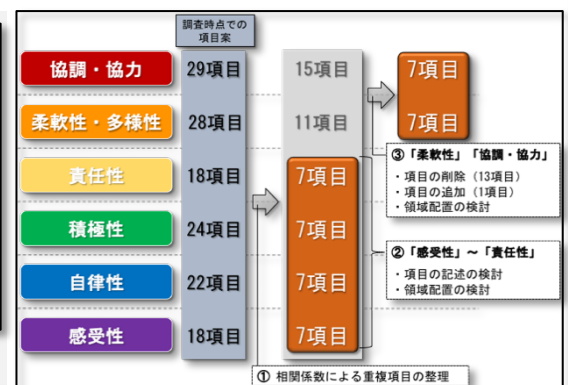
結果と考察



領域別平均得点



項目間の相関



上位領域よりも平均得点が低い項目

領域	項目	平均得点
感受性	(集団のなかで)指導者・支援者の非言語での働きかけに反応する	3.8964
感受性	指導者・支援者に対して、自分の意思を伝える	3.9189
積極性	仲間・同僚とうして、定型的な報告・連絡を行う(作業の開始・完了、確認の要請)	2.6351

下位領域よりも平均得点が高い項目

領域	項目	平均得点
自律性	指導者・支援者の働きかけに従って、決められたとおりに席につく・配置につく	4.3198
自律性	指導者・支援者の働きかけに従って、作業を始めたり、終了したりする	4.3153
積極性	自ら、決められたとおりに席につく・配置につく	4.0360

● 平均得点の比較：

・ **領域別：**「柔軟性・多様性」「協調・協力」の2領域の項目内容の修正が必要

・ **項目別：**難易度によって項目の領域配置の再検討が必要

● 項目間の相関：

・ 「非常に高い相関(相関係数0.8以上)」が見られた項目は内容が重複している可能性があるため、検討が必要。

➡ 以上の検討から、「働く態度のチェックリスト」(42項目)を再構成